

当月採取した試料について、放射性物質測定を行いました。

結果：洗浄水については放射性物質(ヨウ素、セシウム等)の検出はありませんでしたが、空調フィルターについてはセシウムが検出されました。但し、製品への影響はないと認識しています。(下記説明参照)

放射能分析結果(2013年1月分)

検体	測定項目				放射線
	放射性ヨウ素	放射性セシウム			
	I-131	Cs-134	Cs-137	Cs-136	
単位	Bq/kg(L)	Bq/kg(L)	Bq/kg(L)	Bq/kg(L)	μSv/h
製品	次回2月測定				
洗浄水	ND*1	ND*1	ND*1	ND*1	-
カヌラ	次回2月測定				
部品	次回3月測定				
空調フィルター (外気導入)	ND (検出下限:18)	140	290	ND (検出下限:10)	-

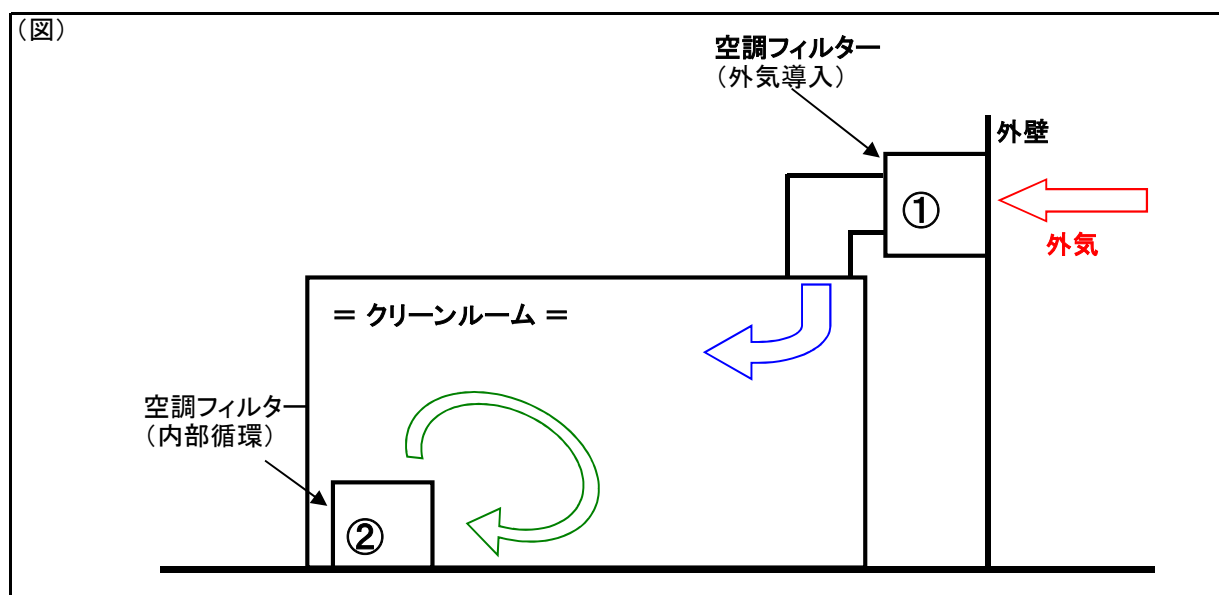
*1) 検出せず(検出下限値=5~8)

今回、空調フィルター(外気導入)(下図①)に放射能が検出されました。事故後4回目の測定(前回2012年7月測定)となりますが、前回同様、大気中の塵に含まれる放射性物質がフィルターに付着し蓄積した為と考えられます。

○今回の数値は、前回測定(2012年7月)した数値より大幅に低い数値(約1/2)である。また、事故直後(2011年5月)に測定した数値の約1/930である。(表1『放射性セシウム検出推移』参照)

○前回調査時において、当外気導入フィルターにて大部分が除去されることが確認されており、また外気導入フィルターを通過した放射性物質は、内部循環フィルター(下図②)にてさらに除去されることが確認されている。(2011年7月調査済み)

弊社周辺環境における大気中の放射線量は事故直後に一時的に増加しましたが、その後現在に至るまでに新たな増加は無いと考えられ、またこのクリーンルーム内で製造された製品からは放射性物質の検出はなかったことから、クリーンルーム内環境への影響はないと認識しております。



(表1)放射性セシウム検出推移

	2011年5月	2012年1月	2012年7月	2013年1月
Cs-134	250,000	2,100	500	140
Cs-137	270,000	2,700	740	290

(Bq/kg)